

令和8年度採用

岐阜県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験

教職教養

受験番号	
------	--

試験時間

10時00分～10時20分（20分）

【注意事項】

- 1 放送で指示があるまで、この問題冊子に手を触れないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は、マークシート記入要領に従って記入してください。
- 3 問題の印刷が不鮮明な場合には挙手をして、試験官が来るのを待ってください。
- 4 終了後、解答用紙のみ回収します。この問題用紙は各自持ち帰ってください。

岐阜県では平成20年4月より、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名詞は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては「障害」の表記で統一して出題している。

- 1 次の文章は、「日本国憲法」の第二十五条及び第二十六条である。A～Dに当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は1。

第二十五条 すべて国民は、健康でAな最低限度の生活を営む権利を有する。
2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、B及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

第二十六条 すべて国民は、法律の定めるところにより、そのCに応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
2 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせるDを負ふ。義務教育は、これを無償とする。

- ① A 文化的 B 社会生活 C 資質 D 義務
- ② A 文化的 B 社会保障 C 能力 D 義務
- ③ A 文化的 B 社会生活 C 資質 D 権利
- ④ A 自立的 B 社会保障 C 能力 D 義務
- ⑤ A 自立的 B 社会生活 C 能力 D 権利

- 2 次のA～Eの文章は、それぞれある教育心理学の心理効果について説明したものである。その内容として適切なものの組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は2。

- A ゴーレム効果
よい感情をもっている児童生徒に対して、評価が全体的に甘くなること。
- B ホーソン効果
評価対象者と比較する人を設定し比較することで、評価がゆがむこと。
- C ピグマリオン効果
指導者が学習者に期待をもつと、学習者の成績や能力が向上すること。
- D 寛容効果
学習者が指導者に期待されていないと、成績や能力が向上しないこと。
- E ハロー効果
学習者が何か優れた特徴をもっていると、それ以外のことも優れているだろうと判断してしまうこと。

- ① A・C
- ② B・D
- ③ C・E
- ④ A・D
- ⑤ B・E

3 次の文章は、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針の策定について」（令和6年1月17日）にて述べられている「2 合理的配慮」の一部である。A に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は3。

(1) 合理的配慮の基本的な考え方

関係事業者は、その事業を行うに当たり、障害者から現に A 障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、A 障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮（以下「合理的配慮」という。）をしなければならないこと。

- ① 心理的
- ② 身体的
- ③ 言語的
- ④ 物理的
- ⑤ 社会的

- 4 次のA～Dの文章は、それぞれある法律の条文の一部である。それぞれの法律の名称の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は4。

- A 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。
- B 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。
- C 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。
- D 公立の小学校等の教諭等の研修実施者は、当該教諭等（臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。）に対して、その採用（現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。）の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（次項において「初任者研修」という。）を実施しなければならない。

- ① A 教育基本法 B 地方公務員法
C 学校教育法 D 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
- ② A 教育基本法 B 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
C 学校教育法 D 教育公務員特例法
- ③ A 学校教育法 B 教育公務員特例法
C 教育基本法 D 地方公務員法
- ④ A 学校教育法 B 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
C 教育基本法 D 地方公務員法
- ⑤ A 学校教育法 B 地方公務員法
C 教育基本法 D 教育公務員特例法

7 次の文章は、「生徒指導提要（令和4年12月 文部科学省）」に述べられている「12. 4 『性的マイノリティ』に関する課題と対応」の一部である。学校の対応として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は7。

- ① 学級・ホームルームにおいては、いかなる理由でもいじめや差別を許さない適切な生徒指導・人権教育等を推進することが、悩みや不安を抱える児童生徒に対する支援の土台となります。
- ② 「性的マイノリティ」とされる児童生徒には、自身のそうした状態を秘匿しておきたい場合があることなどを踏まえつつ、学校においては、日頃から児童生徒が相談しやすい環境を整えていくことが望まれます。
- ③ 教職員自身が理解を深めるとともに、心ない言動を慎むことはもちろん、見た目裏に潜む可能性を想像できる人権感覚を身に付けていくことが求められます。
- ④ 学校として効果的な対応を進めるためには、組織で対応することは欠かせないことから、当事者である児童生徒やその保護者に対し、情報を共有する意図について理解を得ることを待たず、速やかに教職員間で情報を共有する必要があります。
- ⑤ 指導要録の記載については学齢簿の記載に基づき行い、卒業後に法に基づく戸籍上の性別の変更などを行った者から卒業証明書などの発行を求められた場合は、戸籍を確認した上で、当該者が不利益を被らないよう適切に対応します。

8 次のA～Eの文章は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(平成28年法律第105号)の第三条に示されている教育の機会の確保等に関する施策の基本理念である。その内容として適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は8。

- A 全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めること。
- B 不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること。
- C 不登校児童生徒が安心して教育を十分に受けられるよう、学校における環境の整備が図られるようにすること。
- D 義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を十分に尊重しつつ、その年齢又は国籍その他の置かれている事情にかかわらず、その能力に応じた教育を受ける機会が確保されるようにするとともに、その者が、その教育を通じて、社会において自立的に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、その教育水準の維持向上が図られるようにすること。
- E 国、地方公共団体、教育機会の確保等に関する活動を行う民間の団体その他の関係者の相互の密接な連携の下に行われるようにすること。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

9 次の文章は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」（令和3年法律第57号）の第一条の一部である。A～Cに当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は9。

（目的）

第一条 この法律は、教育職員等による児童生徒性暴力等が児童生徒等の権利を著しく侵害し、児童生徒等に対し生涯にわたって回復し難いAその他の心身に対する重大な影響を与えるものであることに鑑み、児童生徒等のBを保持するため、児童生徒性暴力等の禁止について定めるとともに、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、基本指針の策定、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する措置並びに教育職員等による児童生徒性暴力等の早期発見及び児童生徒性暴力等への対処に関する措置等について定め、あわせて、特定免許状失効者等に対するCの特例等について定めることにより、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策を推進し、もって児童生徒等の権利利益の擁護に資することを目的とする。

- ① A 心理的外傷 B 尊厳 C 教育職員免許法
- ② A 身体的傷害 B 尊厳 C 教育職員免許法
- ③ A 身体的傷害 B 安全 C 地方公務員法
- ④ A 心理的外傷 B 尊厳 C 地方公務員法
- ⑤ A 心理的外傷 B 安全 C 地方公務員法

- 10 次のA～Cの文章は、心理学における学習に関する理論について説明したものである。それぞれの理論と関係が深い人物の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は10。

A でたらしめに行動した結果、成功と失敗を何度も繰り返すうちに、特定の行動が成立する学習を試行錯誤学習という。この人物の代表的な研究としては、ネコを問題箱と呼ばれる実験装置に入れ、箱から脱出することを学習するまでの過程を実験により明らかにした。

B 学習者が他者（モデル）の行動やその結果を観察するだけで成立する学習を観察学習という。この人物らが行った実験では、実験室に置かれた人形へ攻撃している大人（モデル）の行動を観察した子どもは、大人（モデル）の行動を観察していない子どもと比べて、人形に対して攻撃行動をすることが明らかとなり、この実験結果は社会的学習理論としてまとめられた。

C 自発的な行動に報酬や罰が伴うことで、その行動の出現頻度が増減する学習の手続きをオペラント条件づけという。この理論を提唱した人物の有名な実験としては、押すとエサが出てくるレバーが付いた実験装置にネズミを入れ、たまたまレバーに触れてエサを得ることができたネズミは、レバー押しを繰り返すようになるというものがある。

- ① A スキナー B バンデューラ C ソーンダイク
- ② A スキナー B ソーンダイク C バンデューラ
- ③ A ソーンダイク B スキナー C バンデューラ
- ④ A ソーンダイク B バンデューラ C スキナー
- ⑤ A バンデューラ B ソーンダイク C スキナー

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 教職教養

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	②	③	⑤	⑤	②	⑤	④	①	①	④